

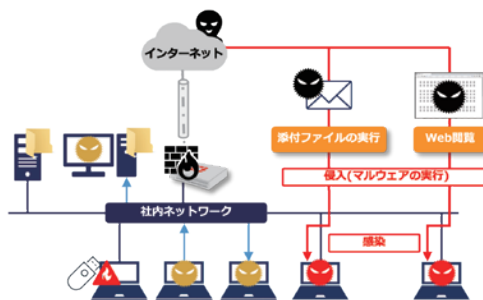
第2話

サイバー攻撃対策ガイド

様々なところに潜むマルウェア、どこから感染するの？

マルウェア 感染経路

マルウェアの感染経路は様々で、脆弱性を狙って次々と増え続けています。ネットワークやコンピュータ、記録装置媒体のあらゆる環境に潜み、感染の機会をうかがっています。最近では、正規のwebサイトであってもマルウェア感染しているケースが十分あり得ます。



ファイアウォール

インターネットと社内ネットワークを 結ぶ境界を防御する第一の壁

宛先や送信元のIPアドレスやポート番号(ヘッダ部情報)をもとに不正なアクセスを制限します。ただし、DoS攻撃やスクリプト攻撃を防げないのが特徴です。

Webフィルタリング

Webアクセスやダウンロード経由で 感染するウイルスへの対策として有効です

ウイルスに感染しそうなWebサイトへのアクセスの遮断や職務上または教育上、閲覧することが不適切なWebサイトを制限します。

ウイルス検知

奇体なウイルスの挙動を 検知し、ファイル共有サービスなど への攻撃を防ぐ

ファイアウォールで制限するヘッダ部情報だけでなく、通信データの内容も監視して様々な外部からの攻撃を防ぎます。

メールゲートウェイ

メールからの感染を 防ぐのに非常に効果的です

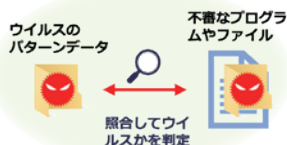
スパムメールを自動的に削除、設定に合わせたメールの通信可否、振り分けによる制御を行います。メールに添付されたマルウェアやメール本文のリンクより、マルウェアを仕込んだWebサイトへの誘導などから防ぎます。

スパムの被害は、世界中のメールトラフィックの50%以上を占めています

パターンマッチング

ソフトメーカーによって用意されたウイルスの定義ファイルと不審なプログラムやファイルを照合して、ウイルスの有無を調査。

定義されていない未知のウイルスは検出できません。



ビヘイビア(振る舞い)法

プログラムが危険な行動(振る舞い)をウイルスとして検出する方法。ファイルの書き込みや削除、通信量の異常増加を危険な行動とみなします。



そもそも…

4つの機能をご紹介しましたが、
“セキュリティパッチ”で十分!!となっていないませんか？

セキュリティパッチだけでは、外部からのウイルス感染に対する防御としては不十分!?

WindowsなどのOSをはじめとしたご利用中のソフトウェアにおいて、公開されているソフトウェアで発見された脆弱性や問題点を解消するためのプログラム“セキュリティパッチ”を備えています。セキュリティパッチを最新版に更新することによって、プログラムの不具合や設計上のミスが原因となって発生した情報セキュリティ上の欠陥に対して修正対策を行うことができます。しかし、**マルウェアを含む添付ファイルや不正なサイトへのアクセスなど、ウイルスの脅威に対する防御としては不十分です。**

セキュリティパッチによりシステム上のセキュリティ修正を十分に行い、外部からの脅威に対してはウイルス対策ソフトを合わせて導入されることをオススメします！

ウイルス対策ソフト導入後の対策

ウイルス定義ファイルを最新版にすることが重要です。次々に登場する新種や亜種のウイルスに対応するために、ウイルス定義ファイルを最新にする必要があります。ウイルス対策ソフトのほとんどが自動更新機能を備えているため、利用することをオススメします。

検出エンジン(ウイルス定義ファイル)とプログラムモジュールを定期的にアップデートすることは、PCなど端末のセキュリティを最大限に確保するのに最良の方法です。

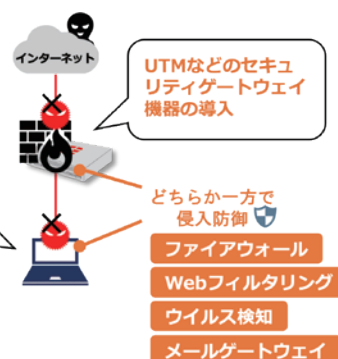
侵入対策はウイルス対策ソフトだけではない！

ゲートウェイセキュリティを合わせた多層防御で脅威を補い防ぐ!!

自社ネットワークと外部ネットワークとの接続境界(Gateway)には、UTMなどを導入し、外部の不正アクセスなどから防御することができます。ゲートウェイセキュリティには、ファイアウォール、IDS/IPS、UTMなどが含まれ、なかでもUTMはファイアウォールやアンチウイルス、不正侵入防止など、複数のセキュリティ機能を統合して組み込んだものになります。

一見ウイルス対策ソフトと同じような防御機能であっても、実装が異なるため、UTMなどのゲートウェイセキュリティとウイルス対策ソフト両方を実施することでセキュリティ効果が高まります。

セキュリティパッチの有効化&ウイルス対策ソフトの導入



侵入対策は、複数のセキュリティ機能を備えるUTMを併用することでセキュリティ効果が高まります。

KOSネットワークのWebサイトから
資料ダウンロードできます！

Web会議や、その他サービスの資料もごさいます。
まずは当サイトより“資料一覧ページ”をご覧ください。



資料一覧ページにアクセス
<https://kosnetwork.co.jp/dl-all/>

スマホから読み込む ▶

